

【新川地区】C・S地区ミーティング事前質問・回答

1【民生委員】防犯カメラについて

Q. 市内で侵入盗が多くなってきており、自治体、自治会でどのくらい防犯カメラが設置されているか知りたい。また、今後増設する予定はあるか教えてほしい。

A. 令和4年度末において市設置の防犯カメラは公共施設を中心に318台、市の補助制度を利用して設置された町内会設置のものが39台、商店街設置のものが28台で、合計385台です。

令和5年度には、公共施設の道路沿いに約60台の防犯カメラを設置するとともに、市の補助対象を民間事業所が設置する防犯カメラにも拡大し、既に8月末現在25件の申請がありました。

ご指摘のとおり防犯カメラは犯罪の早期解決のための証拠映像の他、犯罪を思いとどまらせる抑制の効果もありますので、今後も防犯カメラの設置により、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

2【民生委員】浅間町1丁目資源ごみ集積場所の改善について

Q. 現況の利用勝手が悪いので、敷地内の空き家となっている建物を早期に撤去してほしい。また、車道と歩道の境のブロックも撤去してほしい。

A. 浅間町の資源ごみステーションは、令和4年度に以前資源ごみステーションとして利用していた場所の売却により現在の場所に移転しました。その際、浅間神社の敷地も候補地として検討しましたが、当時の区長と協議させていただき、現在の場所に移転して実施しております。

ご指摘のボーイスカウトの看板があります建物につきましては、昭和36年に建築され、昭和56年までハローワークとして利用されておりました。その後は、地元のボーイスカウトが利用しておりますが、老朽化も進んできております。利用者の方々とも相談させていただき、今後、取り壊すこととしております。

また、スカウトハウス前面の道路は、愛知県衣浦港務所が管理する臨港道路でございます。この道路は、一部の区間の片側に歩道があり、交通安全上、車両と歩行者を分離するため、歩車道境界ブロックを設置しています。

ご要望いただきました歩車道境界ブロックの撤去は、資源ごみ集積場所に出入りする車両の大きさや利用方法にもよりますので、これを踏まえて管理者へ相談してまいります。

なお、歩車道境界ブロックを必要以上に撤去することは、歩行者の安全確保の面から難しいことにご理解をお願いいたします。

3【民生委員】可燃ごみ集積場所の集約化について

Q. ゼロカーボンシティ宣言に伴い、町内会を通じて生ゴミ集配マップを作製し、少しでも集配場所を減らせば集配車のCO2削減につながると考えるがいかがか。

A. 燃やすことのできるごみ収集に関する新たなご提案ありがとうございます。
ダストボックスによる回収から現在の収集方式に変更して以来、25年以上以上経過します。燃やすことのできるごみについてはお住いの近くで出せるという利便がある代わりに、車両は発信と停車の繰り返しで収集しておりますので、やむを得ないとはいえ、燃費、CO2排出の面において効率のいい収集方法ではありません。

ご質問にあるとおり、碧南市は令和5年2月にゼロカーボンシティ宣言をし、基礎自治体として果たす役割に基づき、様々な施策や取組を推進してまいります。カーボンニュートラルの取組は新たな生活様式や行動変容を求めることであり、多くの皆様のご理解を得る必要があると考えています。

その中で、ある程度の区域ごとに燃やすことのできるごみの排出場所としてステーション・拠点を設けて集約化ができれば、収集ルート短縮、車両の大型化によるクリーンセンターへの移動距離短縮などの効率化を図ることが可能と推察されます。

併せて、他市の様子を見ると、金網のようなフェンスで囲うことも可能なようです。回収されるまでの間に動物に荒らされてしまうことや、排出場所をどこにするかうまく調整が図れないという問題も減少すると見込まれます。ただ、現行のルート収集は、長らく市民に浸透した方法であるため、まさしく新たな生活様式や行動変更を求めることであり、新たな収集方法に変更していくには、どこかの地区で試行的に導入するのがスムーズだと思います。その際には、行政の取組だけではなかなか難しいと思われるので地域のお力添えをいただければと思います。

4【民生委員】C・S地区ミーティングの質問の仕方について

Q. 各団体には事前質問形式を採用したが、個人参加者には対応出来ていないため、同様に事前に意見を吸い上げるようにしてほしい。

A. 事前質問形式は、コロナ禍で開催した昨年度に参加者の制限や事前質問による時間短縮といった感染防止対策として採用し、今年度につきましては、連絡委員の皆様に進め方を相談する中で、事前質問を望む意見がありましたので取り入れております。

しかしながら、C・S地区ミーティングにつきましては、市長はじめ職員と市民の皆様が対面して、どなたでも参加出来て、当日その場で自由に発言・意見できる場としてこれまで行ってきておりますので、事前質問形式は一時的なものだと考えています。

今回も、事前質問の後に自由意見の場を用意しておりますので、広くご意見をいただければと思います。

また、C・S地区ミーティングの場以外でも、市ホームページからの問合せや市長への手紙など、広く意見を聞く場は常時ございますので、こちらでも意見をいただければと思

ます。

5【民生委員】行政課題への広報のあり方について

Q. 広報へきなんの市長コラム「敬天愛人」で、行政運営における明るい出来事だけではなく、問題点や課題への取り組みなど、今後の行政の考えや方向性などを市民に周知してほしい。

A. 市長コラム「敬天愛人」につきましては、市長が独自の視点で、行政運営の状況や碧南の歴史などで、碧南市が「世界に誇る」ことを中心に掲載しております。

懸案事項や課題への取り組みに対する広報につきましては、具体的な方針を検討している段階で周知することで、不確定な情報をお知らせすることに繋がるのが考えられますので、掲載することは適当ではないと考えています。

しかしながら、今回ご質問いただいた「知りたいこと」にあるような主要な事業につきましては、市民の皆様も関心のあることだと思っておりますので、「敬天愛人」に限らず、進捗状況なども周知できるよう検討していきたいと思っております。

6【民生委員】市政アンケートのあり方について

Q. アンケート結果から、新たな施策に結びつく仕組みになっていないように感じ、毎年アンケートの実施に疑問を抱く中で、新川地区を住みやすくするための最重要課題は何かを行政として考えて欲しい。

A. 市政アンケートの趣旨としましては、市民の意識、関心、理解の程度を調査し、住みよいまちを目指す施策づくりに生かすこととしております。

各項目を統計的に積み上げていき、各施策の満足度や住み心地についてその推移を確認しております。また、アンケートの最後には自由記入欄がありますので、課題を含めた幅広いご意見もいただいております。

また、各種計画策定や更新の際にも必要に応じてアンケートを実施しており、その中には地区ごとの意見や課題を聞いているものもあります。

新川地区の課題につきましては、駅を中心とした便利で快適に暮らせる市街地の形成が必要であります。(都)西端線の名鉄三河線のアンダーパスによる整備と合わせ、北新川駅の駅前広場の整備と、北新川駅北の踏切交差点の解消など駅周辺整備を進めるものとしており、令和4年度には基礎調査業務を行い、関係機関と協議を進めておりますのでよろしく願いいたします。

7【民生委員】新川公民館のクーラーについて

Q. クーラーがかなり古く、ほとんど冷えないので交換して欲しい。

A. ご質問のクーラーは、2階ホールに設置してあるクーラーと思われます。確認をしたところ古いものではありませんが、フィルターのホコリを取り除いたところ効きは改善されました。

今後は、管理をしっかりと行ってまいります。それでもクーラーの効きが悪くなるようでしたら対応を検討してまいります。

8【民生委員】テニスコートの予約について

Q. 一部の人が、テニスコートを一度に何面も予約し、間近になってからキャンセルするケースが多いので、予約の仕方を見直してほしい。

A. 公共施設予約案内システムでは、スポーツ施設は原則として抽選申込となっており、一人の方が最大10枠までの申し込みをすることができるようになっています。

ご質問のように一人の方が複数の施設を押さえておいて、複数施設当選した場合に必要な施設をキャンセルされるケースがあることは承知をしています。

これまでも、対策を検討してまいりましたが、職員が申し込み状況を確認することもシステム上の対応を図ることも難しい状況です。

そのため、抽選申込は最大10枠まで、利用日7日前からのキャンセルはキャンセル料がかかるルールとしています。

なお、公共施設予約案内システムのトップページに注意喚起文を掲載することとさせていただきます。

9【民生委員】街路樹の草について

Q. 草が高くなっており、道路の車が見づらいので対応を考えてほしい。

A. 市道の植栽につきましては、樹木の種類により作業の回数は異なりますが、年にかん木刈込を1回～3回、除草を2回～4回、造園業者へ委託し、実施しています。

歩行者等の安全を確保するためにも、適切な時期に除草したいと考えていますが、全てを把握できていない場合もございますので、お気づきの場所等がありましたら、ご連絡をお願いします。

また、市内の国道・県道につきましては、愛知県の管理になっていますが、こちらにつきましても、お気づきの場所等がありましたら、市へ連絡を頂ければ、愛知県へ連絡をさせていただきます。

10【民生委員】可燃ごみの収集について

Q. ネットを被せずにゴミ出しをする人などおいて、収集場所の家が、カラスによるゴミ散乱で迷惑している。夜間収集などの対策を考えてほしい。

A. 燃やすことのできるごみについてはご自宅近くの収集路線へのごみ袋を出していただくように案内をしているところですが、ご指摘の通り、通勤途中など、通りすがりにネットもかけず捨てて行ってしまう方がいらっしゃることは承知しております。

ごみ袋の回収に前燃やすことのできるごみの袋をカラスが破って、ごみが散乱し地域住民の方への迷惑をおかけしていることの原因の一つであると認識しております。

抜本的な解決策はございませんが、カラス除けネットに「ゴミ袋はネットに入れて出してください」などの注意喚起のラミネートを作成してお渡しすることもできます。

また、夜間収集については、ごみの収集に要する経費が現行の収集方法の3倍以上ともいわれており、カラス対策には有効とは思いますが、費用があまりにも余分にかかってしまう点が大きな課題ですので、なかなか夜間収集に切り替えることは難しい状況です。

11【民生委員】民生委員の仕事について

Q. 民生委員の仕事を前任者に聞いても人によって言われることが違うため、1年目から何をやるのかが分かりやすい様に、仕事を明記してほしい。

A. 新たに民生委員になられた方へは、所管となる福祉課民生委員・児童委員協議会事務局より通年の活動や研修計画の伝達や愛知県が行うオンライン初任者研修などを通じ、活動に対するご理解が図られるよう進めています。

初めての活動で、戸惑うことが多々あるかと思えます。今後は、今まで以上に新任委員の皆様にも、より分かりやすい説明資料を提供するとともに、スムーズに民生委員活動が行えるよう、各地区民生委員・児童委員協議会とも連携を強化する中、バックアップ体制も整えてまいります。

また、シルバーカードについての活動など、市役所各課からお願いする事業につきましても、丁寧な説明やマニュアルなどを用意するとともに、適切な活動が行えるように準備してまいりますので、引き続き、民生委員・児童委員活動をよろしくお願い致します。

12【民生委員】市民ふれあいフェスティバルの再開について

Q. 市民ふれあいフェスティバルは市民の参加が最も多く、みんなが楽しみにしているイベントの一つであったため、ぜひ再開を検討してほしい。難しければ、これに代わるイベントを考えてほしい。

A. 市民ふれあいフェスティバルは、暮らし、健康、福祉をテーマとした内容で、各団体等の活動内容の周知を図る目的として、市民まつりとして開催しておりました。

その本来の開催目的の状況について、参加団体アンケート結果や団体を取り巻く現状を踏まえ、検討した結果、各団体等の活動内容の周知を図るという目的は、30年余にわ

たる開催で果たされたとの結論に至り、終了を判断しました。そのため、復活の検討及び代替イベントの開催は考えていませんが、新しいイベントの要望が強まり、その機運が市民の皆様の間で盛り上がった場合などは、その趣旨、目的や方法など新しい視点で市として新規イベントに対する支援の方法の検討を否定するものではありませんので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

なお、このような考えから、代替イベントではありませんが、新たな市民活動まつり「碧南きづなあぐ」が、開催に向けて準備が進められ、市としましても、市民主体の本イベントについて積極的に支援してまいりたいと考えています。イベントは来年の3月を予定しており、碧南市市民活動センターに登録している団体が、日ごろの活動成果の発表や団体同士のつながりを作ることを目的としております。日時や場所などの詳細につきましては、順次公表されますので、楽しみにしていただけたらと思います。

13【民生委員】通学路の側溝の蓋について

Q. 側溝蓋が老朽化しており、ひび割れがひどくなっているが、修理の計画はあるか。

A. 老朽化した側溝蓋は、現地を確認し、状態に応じて適切な時期に取り換えを行っています。現地調査のうえ、対応を検討してまいります。